

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
穏やかな初春を、ご家族でお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年は日本各地で自然災害に見舞われる苦難の年でありました。佼成病院の玄関前のシンボルツリーである樅ノ木も、台風の強風で倒されてしまいました。直後は根の断裂により枯れてしまうかと思われました。そして造園業者に枯れる前の伐採を勧められました。しかし何とか救いたいと、職員皆で手当てをし、奇跡的に生き残りました。この病院の不思議な、そして素晴らしいパワーを感じました。このパワーを、医療を介して病院を利用する方々にも是非、経験して頂きたいと思います。

1階にある観音ホールでは、一流アーティストによる院内コンサートを毎月開催致しました（年間で40回）。佼成ウインドオーケストラ、杉並音楽隊、ソプラノ独唱の羽田亜由加さん、シャンソンの松岡けいこさん、佼成学園吹奏楽部、國學院久我山高校音楽部などに加えて、昨年度よりご協力頂いている、さかもと鈴さんの素晴らしいアルバム（小型のハープ）は心を落ち着かせる魔法の調べでありました。MOA美術館・杉並児童作品展の開催も非常に好評でした。描かれた絵は児童のものとは思えないほど力強く、質の高い感動的な作品でありました。著名な画家である加山又造、佐藤太清、児玉希望などの作品、高村光太郎の彫刻など貴重な作品の展示会も行われました。このように外来患者、入院患者の皆様が少しでも癒されるように工夫を致しております。ホームページ上にスケジュールを公開しておりますのでお気軽にご参加下さい。

医療安全は病院業務の基本と考え、質の高い安全な医療の提供に努力をいたしております。当院においては、院長直属の委員会として、医療安全管理委員会を設置し、院内を定期的に巡回しています。今後も引き続き、常に緊張感を持って気を引き締めて対応していきたいと思っております。

昨年2月にJMIPという病院国際化の審査を受審し、非常に高い評価を得る事が出来ました。2020年の東京オリンピックに向けて新たに設置した国際部の整備に加え、病院連携業務・患者支援・入退院業務の円滑化を目的とした院内整備も進め、地域医療に貢献するシステム作りを行いたいと思っております。

当院は、あたたかい心のかような満足度の高い医療の提供をモットーとしております。そして地域に根を下ろした医療の推進を目指しております。この病院を地域の皆様が誇りに思い、心のよりどころとして頂けるような組織の構築を目指しております。

本年も当院の更なる発展のためにより一層の努力をいたしますので、皆様のご理解とご協力、そしてご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって良い年となりますようにお祈り致しております。

佼成病院
甲能 直幸